

「安心とやさしさに 包まれたまち」を目指して

本巣市本巣民生委員児童委員協議会



北の端を福井県と接する本巣市は、国道157号に沿って流れる根尾川を背骨にして、平成の大合併で本巣郡内の四町村が合併して誕生した南北に細長い自然豊かなまちです。

私たちの担当エリアは、本巣トネル北側の山間部と南側の平野部の人口7200人程の地域（旧本巣町）で、委員18名（内主任児童委員2名）が活躍の場としています。

地域の皆さんと

信頼の絆づくり

社会福祉協議会からの依頼で行っている、ぬくもり訪問（一人



▲ぬくもり訪問の様子

住まいの高齢者宅への訪問）で安否確認や日用品の配布をしたり、消防署の防火訪問に同行する中で、一人住まいはもちろん、高齢夫婦障がいのある方等、常に地域の皆さんとの繋がりを大切に活動しています。

子どもたちを見守って

毎年5月に実施される活動強化週間には、地域内の小中学校を訪問して授業の様子を参観し、先生方とはお互いが持っている情報を



▲学校訪問の様子



▲小学校登校あいさつ

出し合いながら子どもたちの健全な成長を願い話し合いをしています。

また、毎月定例会当日の朝は、登校時の安全を見守り、各校の校門の前に立ち「おはよう」と声をかけながら子どもたちとのコミュニケーションの場としています。

奉仕活動で汗を流して

担当エリアには本巣広域連合が運営する老人福祉施設「大和園」があり、広い敷地内の一角には駐車場を取り囲むようにサツキが植えられています。委員全員が参加して、花が咲き終わった6月には剪定と草刈りを行い、秋には夏の間伸びきった草を刈るのが恒例となっています。施設内の皆さんや訪れる皆さんに喜んでいただいています。



▶大和園のサツキ剪定の様子



委員のスキルアップを

目指して

毎月第2木曜日の午後、2時間ほど定例会を行っています。日常生活の中で地域住民の身近な相談相手としての具体的な活動事例を毎月2名が順番に発表し、委員相互の意見交換と今後の課題を抽出する機会としています。また、市の担当者や市社会福祉協議会担当者からのアドバイスをいただきながら、委員が自分のこととして受け止め、日頃の活動に役立てていきます。

コロナウイルス感染症の長期化により思うように活動を実施できていませんが、市内の施設を訪問し現場を体験したり、各分野の専門の方をお招きして話を聞く場を設けています。救急救命・児童虐待・成年後見制度・生活保護制度等、数多く学んできました。

これから私たちは

私たちの担当エリアは残念ながら子ども数はどんどん少なくなり高齢化が進んでいます。安心して暮らせる地域となるよう、日常の活動を通じて信頼される委員として成長できるように、これからも地道に活動していきたいと思っています。